

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式
調査時点 令和6年6月1日発送
令和6年6月14日回答期限
調査対象 信用保証利用先3,000企業
有効回答数 424 企業(回答率 14.1%)

※ 当期: R06年4月～6月実績見込
次期: R06年7月～9月期予測

【DI値について】

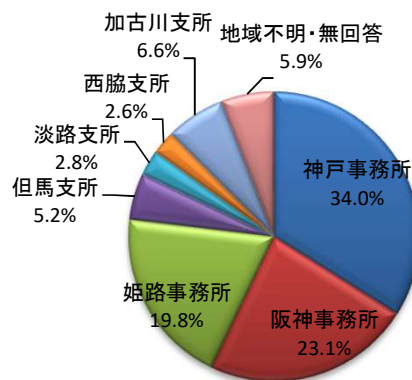
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

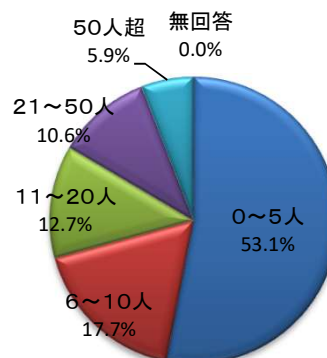
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	144	34.0%
阪神事務所	98	23.1%
姫路事務所	84	19.8%
但馬支所	22	5.2%
淡路支所	12	2.8%
西脇支所	11	2.6%
加古川支所	28	6.6%
地域不明・無回答	25	5.9%
合計	424	100.0%



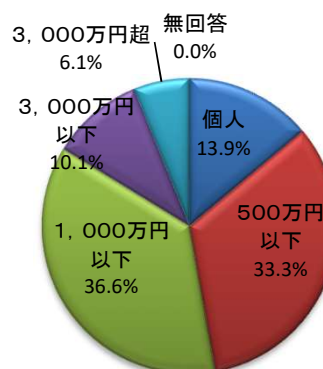
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	225	53.1%
6～10人	75	17.7%
11～20人	54	12.7%
21～50人	45	10.6%
50人超	25	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	424	100.0%



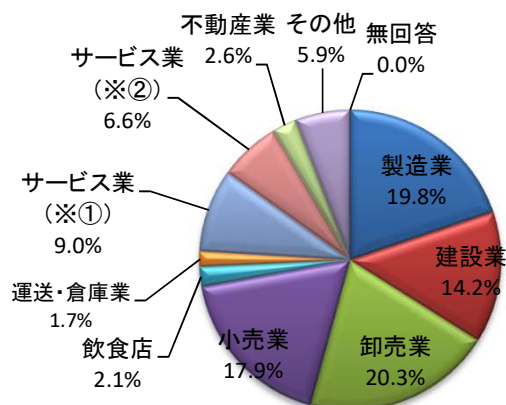
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	59	13.9%
500万円以下	141	33.3%
1,000万円以下	155	36.6%
3,000万円以下	43	10.1%
3,000万円超	26	6.1%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	84	19.8%
建設業	60	14.2%
卸売業	86	20.3%
小売業	76	17.9%
飲食店	9	2.1%
運送・倉庫業	7	1.7%
サービス業(※①)	38	9.0%
サービス業(※②)	28	6.6%
不動産業	11	2.6%
その他	25	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	424	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(24年4~6月期)は、前期(24年1~3月期)に比べどのような状況ですか。
- (2) 次期(24年7~9月期)は、当期(24年4~6月期)に比べどう思いますか。

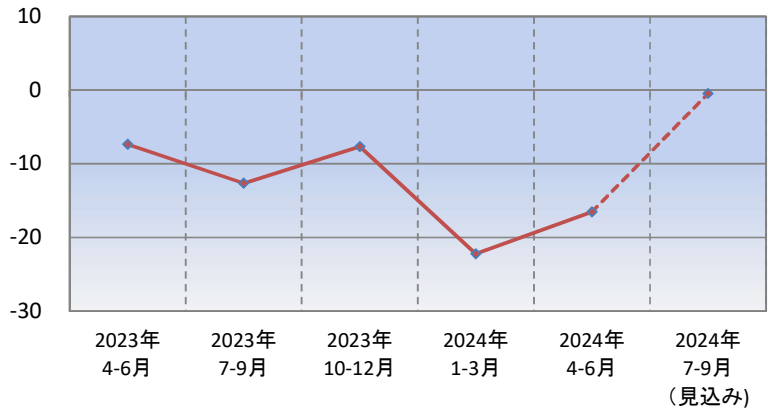
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	100	23.6%
変わらない	154	36.3%
減少した	170	40.1%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	117	27.6%
変わらないと思う	188	44.3%
減少すると思う	119	28.1%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 7.7	▲ 22.2	▲ 16.5	▲ 0.5

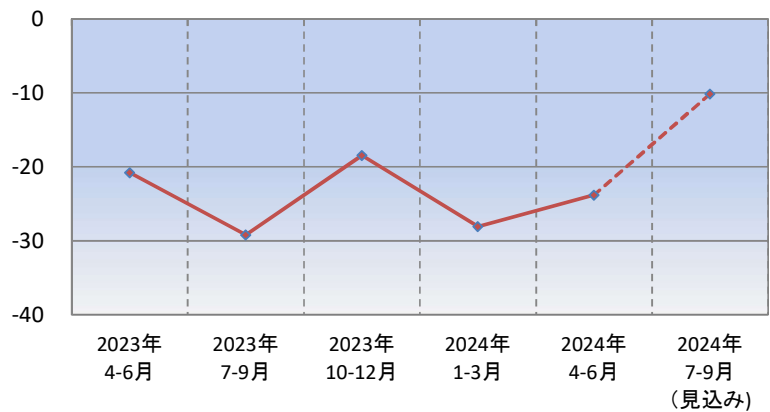
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	55	13.0%
変わらない	213	50.2%
悪化した	156	36.8%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	79	18.6%
変わらないと思う	223	52.6%
悪化すると思う	122	28.8%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%



採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 30.3	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 18.5	▲ 28.1	▲ 23.8	▲ 10.1

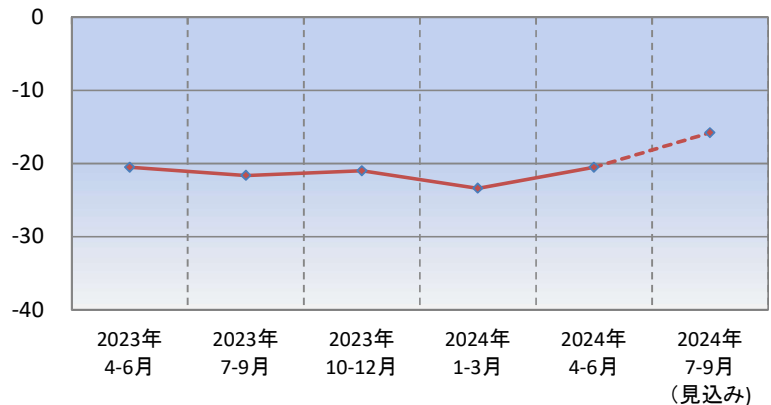
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	30	7.1%
変わらない	277	65.3%
悪化した	117	27.6%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	49	11.6%
変わらないと思う	259	61.1%
悪化すると思う	116	27.4%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 23.0	▲ 23.2	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 21.0	▲ 23.4	▲ 20.5	▲ 15.8

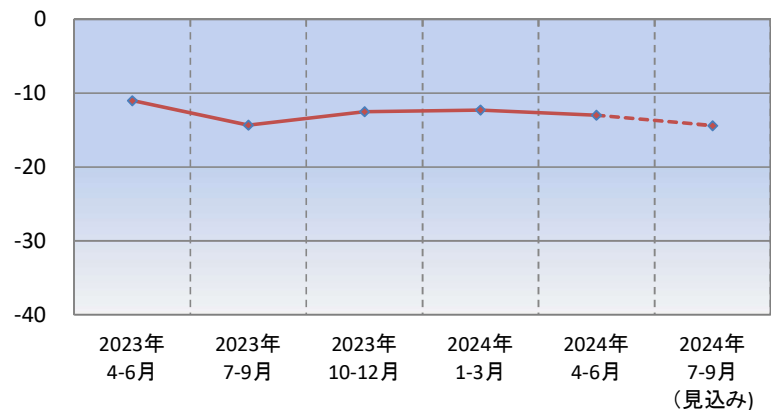
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	18	4.2%
変わらない	333	78.5%
難しくなった	73	17.2%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	24	5.7%
変わらないと思う	315	74.3%
難しくなると思う	85	20.0%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

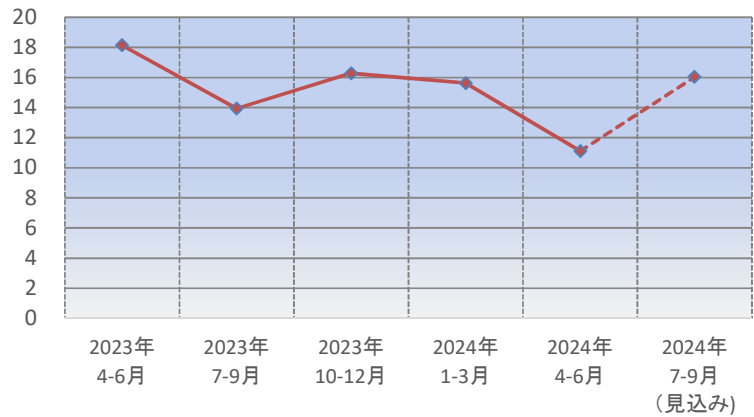
調査時期 (実績)	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月 (見込み)
兵庫県	▲ 15.3	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 12.3	▲ 13.0	▲ 14.4

当期(4-6月)のDI値については、前期(1-3月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「借入難易感」の項目において悪化しました。
 次期(7-9月)のDI値については、当期(4-6月)のDI値に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	90	21.2%
変わらないと思う	312	73.6%
弱まると思う	22	5.2%
無回答	0	0.0%
総計	424	100.0%



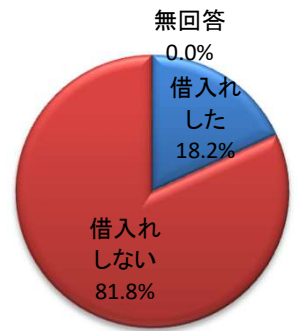
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(24年4～6月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

選択肢	24年4～6月期		24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	77	18.2%	19.6%	25.6%	25.0%	20.3%
借入れしない	347	81.8%	80.4%	74.4%	75.0%	79.7%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	424	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

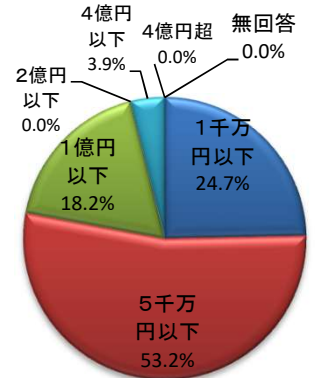
当期の借入れは、前回調査と比べ1.4ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	24年4～6月期		24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	19	24.7%	28.4%	36.7%	30.3%	37.3%
5千万円以下	41	53.2%	43.3%	43.3%	44.9%	37.3%
1億円以下	14	18.2%	22.4%	14.4%	16.9%	16.9%
2億円以下	0	0.0%	1.5%	1.1%	3.4%	2.4%
4億円以下	3	3.9%	3.0%	3.3%	0.0%	3.6%
4億円超	0	0.0%	1.5%	0.0%	2.2%	1.2%
無回答	0	0.0%	0.0%	1.1%	2.2%	1.2%
総計	77	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

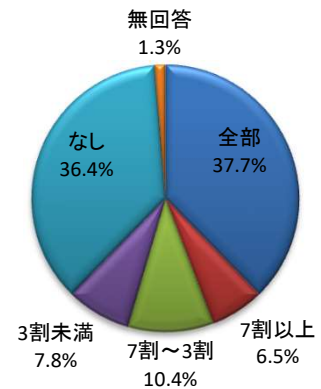
当期の借入総額は、前回調査と比べ「1千万以下」が3.7ポイント減少し、「5千万円以下」が9.9ポイント増加しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

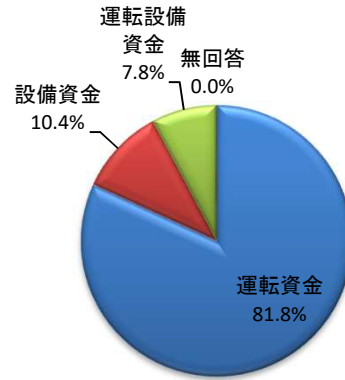
選択肢	24年4～6月期		24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	29	37.7%	34.3%	38.9%	46.1%	36.1%
7割以上	5	6.5%	10.4%	7.8%	5.6%	4.8%
7割～3割	8	10.4%	17.9%	12.2%	5.6%	13.3%
3割未満	6	7.8%	1.5%	4.4%	6.7%	6.0%
なし	28	36.4%	35.8%	36.7%	34.8%	39.8%
無回答	1	1.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%
総計	77	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が3.4ポイント増加しています。



当期借入金の目的は何ですか。

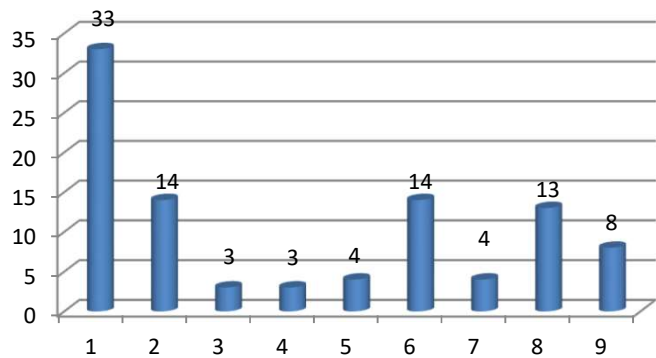
選択肢	回答数	構成比
運転資金	63	81.8%
設備資金	8	10.4%
運転設備資金	6	7.8%
無回答	0	0.0%
総計	77	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

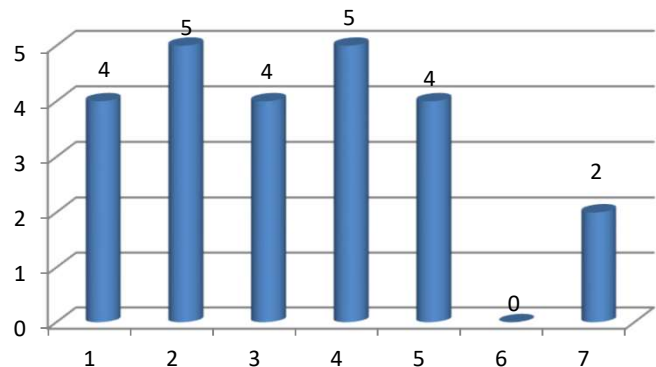
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	33
2 売上減少・赤字補填	14
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	3
5 回収条件悪化対応	4
6 売上増加運転資金	14
7 在庫積み増し	4
8 季節運転資金	13
9 その他	8
総計	96



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上減少・赤字補填」「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

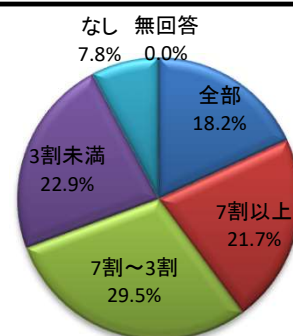
選択肢	回答数
1 新規事業	4
2 生産増強	5
3 合理化・効率化	4
4 設備老朽化に伴う入替	5
5 修理・修繕	4
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	2
総計	24



設備資金の種類は、「生産増強」「設備老朽化に伴う入替」が最も多くなっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(24年6月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

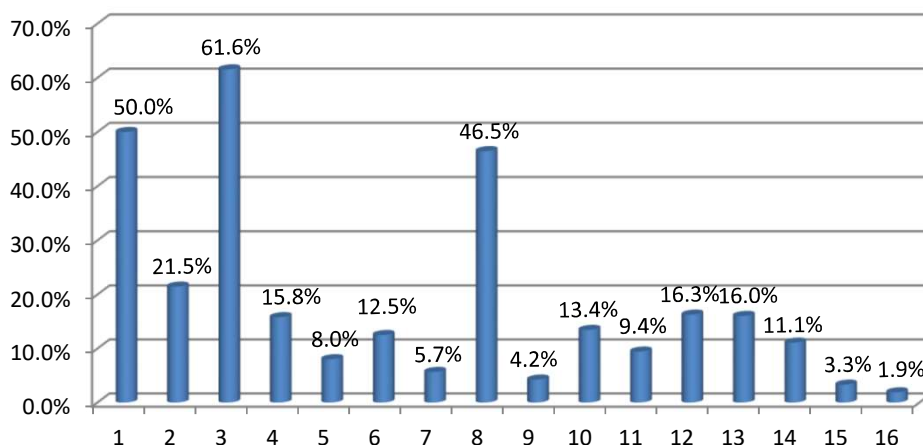
選択肢	24年4～6月期		24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期	23年4～6月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	77	18.2%	16.7%	15.9%	17.4%	16.6%
7割以上	92	21.7%	24.6%	25.6%	23.3%	18.6%
7割～3割	125	29.5%	32.2%	31.0%	31.5%	34.7%
3割未満	97	22.9%	16.4%	18.8%	19.4%	20.5%
なし	33	7.8%	10.2%	8.8%	8.4%	9.5%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	424	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「3割未満」とする回答が増加し、「7割以上」「7割～3割」「なし」とする回答が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	212	50.0%	9 過剰在庫	18	4.2%
2 競争激化	91	21.5%	10 設備投資	57	13.4%
3 コスト高	261	61.6%	11 後継者難	40	9.4%
4 業界構造変化	67	15.8%	12 資金調達	69	16.3%
5 取引条件の悪化	34	8.0%	13 借入過多	68	16.0%
6 消費者ニーズの多様化	53	12.5%	14 為替	47	11.1%
7 技術・商品開発	24	5.7%	15 海外景気の減速	14	3.3%
8 人材・労働力の確保	197	46.5%	16 その他	8	1.9%



経営上の課題については、「売上・受注の減少」「コスト高」「人材・労働力の確保」が群を抜いて上位となっており、特に「コスト高」「人材・労働力の確保」は前期の割合を上回っています。次いで、「競争激化」「資金調達」「借入過多」の順となっています。

